学校番号	105

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	最新政治・経済　（実教出版）						
副教材等	最新政治・経済　演習ノート　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治・経済のしくみや事象には必ずそれを生み出した背景がある。授業を受けるにあたっては、常に「なぜ」「どうして」という視 点を忘れずに臨んで欲しい。そして、現象の奥にある本質的なことを探究してください。
・「政治・経済」の動きはわれわれの「生活」に直結している。それゆえ、ニュース等マスメディアの情報に触れるように心掛けてく ださい。現実社会の中で、その知識が生きてこその「政治・経済」です。授業でもできる限り時事問題を扱っていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　民主主義の本質を理解し、幅広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
　政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、主権者としての探究心、社会科学的な認識を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
　公正な判断力を養い、主権者として必要な能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の政治･経済､国際関係に関する基本的な事柄や、本質・特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けているか。	現代の政治・経済、国際関係に関わる事柄から課題を見つけ出し、その本質や特質、望ましい解決の在り方 について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を公正に判断して、 その過程や結果を様々な方法で適切に表現できるか。	現代の政治・経済、国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家社会の一員とし て平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	民主主義の基本原理 日本国憲法の基本的性格	・政治と法 ・民主政治と人権保障の発展 ・国民主権と民主主義の発展 ・世界の政治体制 ・日本国憲法の成立 ・平和主義 ・基本的人権の保障 ・人権の広がり	・基本的人権の意義、法の支配、民主政治の発達と人権の発達、世界の政治体制を学習し、民主 政治の課題を考える。 ・日本国憲法の成立、日本国憲法における平和主義、基本的人権の保障の内容を学習し日本国憲法の今日的意義を理解する。	定期考査	定期考査	演習ノート
	日本の政治機構 現代日本の政治	・立法、行政、司法 ・地方自治 ・戦後政治の歩み ・選挙制度 ・政治参加と世論	・日本の国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているか理解するとともに今後の課題について考える。 ・戦後政治の流れ、政党と選挙、行政機能の優位、 世論の役割について学習し、日本の政治について考える。			
2学期	経済社会の変容 現代経済のしくみ	・経済活動の意義 ・経済社会の形成と変容 ・市場経済 ・現代の企業 ・国民所得と経済成長 ・金融・財政のしくみ ・経済の停滞と再生	・資本主義経済の発達と特徴について学習し、今日の経済のグローバル化が生活に及ぼす影響について考える。 ・経済主体の特徴、市場のしくみ、国民所得、経済成長、金融のしくみ、財政の役割について学習し、多様な課題にどのように取り組むべきか考える。	定期考査	定期考査	演習ノート
	現代経済と福祉の向上	・日本の中小企業と農業 ・国民の暮らし ・環境保全と公害防止 ・労使関係と労働条件の改善 ・社会保障の役割	・日本経済史、中小企業及び農業問題、環境・公害問題、労働問題、社会保障の役割について学習し、それぞれの課題にどのように取り組むべきかを考える。			
3学期	現代の国際政治	・国政政治の特質と国際法 ・国際連合と国際協力 ・現代の国際政治の動向 ・核兵器と軍縮 ・国際紛争と難民 ・国際政治と難民	・国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動、冷戦終結後の国際政治、核管理・軍縮について学習し、国際政治と日本の関係について考える。	定期考査	定期考査	演習ノート

	現代の国際経済	・商品・資本の流れと国際収支 ・国際経済体制の変化 ・グローバル化と世界金融 ・地域経済統合と新興国の台頭 ・地球環境とエネルギー ・経済協力と人間開発の課題	・商品・資本・金融の国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題を学習し、世界経済と日本経済のかかわりについて考える。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度